

# Lap117 ● 「若者のクルマ離れ」にひと言



■文：太田哲也

「若者のクルマ離れについて」、  
太田さんはどう感じている、  
それを取り戻すのにはどうしたらいいと思っ  
ているか…。

オレが高校生の頃、ホリデー  
オートを読み込んだ話は以  
前にもした。当時、まわりの友  
人たちも18歳になったら免許を  
取って、もちろん中古だけどク  
ルマを買う。それが当たり前だ  
と思っていた。オレもバイトして、  
10年落ちのギャランGTOを4  
万円で買った。オレたちみんな、  
クルマを運転する面白さはもち  
ろん、女の子と親しくなるため  
の「必須アイテム」だと感じて  
いた。しかし今、若者のクルマ  
離れが問題視されている。本  
当にそうなのか？

## 関心がある割合が確実に 減少したというが…

ある広告会社が行った調査に  
よると、2000年からの10年  
間で、自動車に関心があると答  
えた20代男子の比率は、70%か  
ら40%に減少している。これだ  
けをみれば、若者のクルマ離れ  
は着実に進行していると裏付け  
られそうだ。  
ところがオレの実感として、

# いつもそばに クルマが。

うちの会社の20代のスタッフは  
みんなクルマ大好きだし、うち  
のドライビングレッスンにも20  
代の人たちがやってくる。オレ  
が毎年やっている「太田哲也小  
学校 中学校出張授業」は今年で  
5年目になるが、あいかかわらず  
子どもたちにクルマの話題は好  
評だ。昨年も中野の小学校に愛  
車のアルファ Romeo 159で出  
向いたが「タイヤが太い」「車  
高が低い」と喜ばれた。先月  
は愛知県で高校生とトークショ  
ーを行ったが、サブテーマだっ  
たクルマの話題で会場は大いに  
盛り上がった。

時に動くものや乗り物に憧れを  
持つのはDNAで、そんなに簡  
単に人間の構造は変わらないの  
ではないか。むしろ変わったの  
は彼らを取り巻く環境で、小中  
高あたりまではクルマに憧れを  
持っていたのに、その先で急速  
に興味を薄れてしまう…。そう  
いうことではないかと思う。そ  
うの原因は何かを考えてみよう。

先日、経産省のスタッフから  
の依頼で、大手自動車メーカー  
の若手技術者たちに対して「ク  
ルマの未来」というテーマで講  
演を行った。それに先立ち彼ら

「認知的不協和」という  
概念でクルマ離れを考察  
最近では肉食系女子、草食系男  
子という言い方がよくされる。  
今の20〜30代男性は恋愛やSE

が「クルマ離れ」についてリサ  
ーチしてきてくれた。その内容  
を紹介すると、40代以上は男女  
共それほどクルマ離れはない。  
必要性や楽しさについて多くの  
人が理解を示している。しかし  
20代男性には、駐車場が高い、  
維持費がかかるから買えないな  
ど消極的意見が多かったそう  
だ。

Xに消極的だそう。ある調査  
によれば2012年現在、交際  
相手のいない20〜30代男性は60  
%で過去最高の割合だそうだ。  
しかし心底、恋愛や結婚を望ん  
でいないのだろうか？  
社会学で「認知的不協和」と  
いう概念がある。人は心に矛盾  
する思いを抱えた時、無意識に  
これを回避したいと思い、自分  
の思いや行動を変更するという  
ような考えだ。

◀最近では86&BRZが手ごろな価格で買えるカッコいいクルマの代表格。ただ、この2車ですら、現実には若者が簡単に手が届くものではないようだ中古に期待!



らずつと不況で、就職氷河期も続いている。給与に関して上世代と比べて10年間でもっとも平均給与率が下がったのが20、30代だ。経済的余裕がなければ、クルマに対する欲求が失われるのは当然だ。

その一方で、公共交通機関が発達し、スマホのアプリやゲームなど他の安い娯楽が増えた。とくに都会の若者は、クルマがなくてもさほど不便はない。リスクを犯して大きな夢を持つ必要はないと思うようになる。

### 魅力を語って若者をクルマ好きにしよう!

都内には駐車場代がバカ高く、乗らないのに駐車場代を払うのは気分が沈む。車両価格に金を払うのは仕方ないとして、維持費にお金がかかるのは精神的負担が大きいものだ。

しかも頑張れば手が届くような価格で買えるカッコいいクルマがない。日本車はしばらくの間、エコを前面に出した(個人的にはつまらない)クルマやミニバンばかりであった。厳しい現実下で夢がないクルマばかりを見ていたら、クルマに関心を示さなくなるのは必然だ。

しかし最近ではトヨタ86&スバルBRZが出てきた。輸入車であれば、さほど高価ではないのに走りやエコを両立させた小型車が続々と登場している。明るい兆しだ。

さらにクルマの魅力を若者に伝えるなら、「カッコいいクルマに乗っている」とドライバーもかっこ良く見える。運転がうまい男もかっこ良く思われる」ことを付け加えよう。そんなふうにはオレは経験上感じている。

それを裏付けるデータとして主婦の友社の調査によれば、男性にクルマを所有してほしいと思っている女性の割合は75%、できれば所有してほしいは95%で、女性がクルマに乗る男性を求めていることは明らかだ。さらにはあるWEBによるアンケートでは(信憑性は微妙だが)キスをした場所で100人のうち「車内」と答えた回答が20%で2位となっていた。ちなみに1位は夜景が見えるロマンチックな場所だ。男性にドキッとする瞬間に関しては、笑顔が20点、「運転している横顔」が10点でこれまた2位。

つまりクルマに乗ると、女の子と知り合っキスをするチャンスが増大するんだよ。ちなみに先のアンケートでは1回目のデートでキスをする人は100人中58人だそうだ。つまりクルマを持っていれば簡単にキスが

できるのだよ、若者よ! 運転も楽しいよ! ハンドルを切りながらシフトチェンジをしアクセルを戻しながらクラッチを踏み、前を見ながらサイドミラーを確認する。そんな動作を一度にこなすのが運転だ。慣れるまでは煩雑に思えるかもしれないが、うまくできるようになると実に楽しい。そして一連の動作が太極拳のように流れると、女性から見るととてもかっこ良く見えるらしい(太田の経験値)。つまり自分のカッコ良さをアピールできるのが、クルマなのだ。俄かに信じられない若者は、シヨーウインドーに映ったクルマを見てほしい。運転している自分がとてもかっこ良く見えてるはずだ。

最近、トヨタがクルマそのものでなく「免許を取ろう!」「クルマは楽しい」というメッセージをテレビCMで流している。こういうCMをほかのメーカーもやってほしいし、それこそ自工会でまとまってやることを大真面目で提案したい。

## 「若者のクルマへの関心が失せたのではなく、経済的理由で買うのが大変な現実と直面して、徐々にクルマに関心を示さなくなっただけだ」



▲1970年代後半に起きた「スーパーカーブーム」を機に、クルマ好きになった人たちも多いはず。今のスーパーカーたちも負けない魅力を持っているが...

今年も「出光×太田哲也出張授業」を開催。5年目となる今年も150校から応募があり、そのうち小中各2校で太田哲也の特別授業を行います。テーマは「夢をかなえるためにチャレンジ」と「クルマを好きになること」です。http://www.keep-on-racing.com